

Istanbul Weekly vol.8-no.30

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2019年11月28日（金）

— 今週のポイント —

政治：エルドアン大統領が CHP 幹部と密会？

経済：8月の失業率14%。若年層失業率は27.4%に上昇。

全日空、来年の羽田ーイスタンブール直行便の就航を発表。

治安：トルコに拘束された ISIL 関係者が欧州各国へ送還。

社会：トルコ人俳優が、第47回国際エミー賞最優秀男優賞を受賞。

政治

【内政】

●不法移民仲介・人身売買、外国人入国に対する規制強化か

(1)現在 AKP が 95 条からなる新法案を作業中である。同新法案では、不法移民への仲介や人身売買は、刑事裁判法 100 条で特に重大な犯罪とされる「カテゴリー罪」の中に新たに規定され、規制を強化することが検討されている。同法における「カテゴリー罪」には虐殺、人道に対する罪、拷問、国家安全に対する犯罪などの重罪が規定されている。外国人のトルコ入国・滞在及びトルコ国民・外国人の出国を幫助した者は3年から8年の懲役又は罰金刑となる。内務省関係者によると、これまでに1万人の仲介者が逮捕されている。

(2)同法案には、①トルコへの入国が承認されない外国人を「入国非承認の者」として手続き完了まで国境外で待機させることを可能とすること、②移民管理局は、安全上トルコへの入国に問題があるとされる外国人の入国を禁止できること、③行政調査の対象となった外国人の国籍を明白にするため、当局は、電子・通信機器を調査できること等の内容が含まれる。(11月20日付けM紙12面)

●シアン化合物を利用した家族心中が連続、入手規制強化

11月にイスタンブールやアンタリヤで3家族がシアン化合物による中毒で死亡した事件を受け、11月20日にクムルム環境都市大臣は、シアン化合物の一般市民への販売を禁止し、国内での流通を追跡する方向で制度変更を検討していると発表した。シアン化合物を原因とする事件で15日間に11人が死亡した。(11月21日付けM紙13面)



(写真は、11月20日付けM紙インターネット版より)

●エルドアン大統領が CHP 幹部と密会？

11月20日付けソズジュ紙のラフミ・トゥラン記者による記事で、エルドアン大統領と某 CHP 幹部が大統領府で秘密裏に会談を行い、次期 CHP 党首となるための方策について協議が行われたとの内容が報道された。その真偽についての議論が両党間で巻き起こっている。エルドアン大統領は、密会を否定しており、クルチダルオール CHP 党首は「誰が大統領府に行ったかはわかっている。」と発言した。トゥラン記者は後日、面談した者は2018年の大統領選挙にも出馬したムハッレム・インジェ議員であると発表した。インジェ議員は24日に生放送で同紙の報道はフェイクニュースであると否定した。また、トゥラン記者は、情報源がタラット・アツティラ記者であると明らかにし、オズトラク CHP 報道官は「(アツティラ記者の情報は) CHP 内部に対抗勢力を作ろうとする大統領府による策略である。」と発言した。(11月20日、22日、23日付け SOZCU 紙インターネット版、26日付けC紙5面)



(写真は、11月23日付けソズジュ紙インターネット版から)

●11月25日は「女性に対する暴力根絶」国際デー

(1)11月25日が女性に対する暴力根絶国際デーであったことから、トルコでも大統領府をはじめ各種イベントが実施され、エミネ・エルドアン大統領夫人、セルチュク労働社会サービス家族大臣などにより、暴力防止が訴えられた。また、一週間にわたり女性への暴力防止を呼びかける公共CMが各TVで放映された。

(2)ソイル内務大臣は、2019年に299人の女性が殺害されたと発表し、うち52.8%が銃火器、31.9%が刃物、7%が窒息死によるものであるという。なお、市民団体「女性殺人を止めようプ

ットフォーム」による統計では、2019年11月までに404人の女性が殺害されたという。また、内務省によるデータでは2019年10月までに15万7,150件の暴力事件が発生し、昨年の発生数は21万9,801件であった。なお、女性に対するDV発生件数は2017年18万307件、2018年21万9,801件、2019年10月までに15万7,150件となっている。

(3)労働社会サービス家族省は、75項目からなる「女性に対する暴力防止連携計画」を発表した。(11月25日付けM紙11面)

【外交】

●チャヴシュオール外務大臣の日本訪問

11月23日に実施されたG20外相会合のため日本の愛知県名古屋市を訪問したチャヴシュオール外務大臣は、大村愛知県知事と会談を行い、在名古屋トルコ総領事館の開設への支援に謝辞を伝えた。日本側当局との協議においては、愛知県付近に多く居住する在日トルコ人と面談を行い、在日トルコ人からの要請を日本側に伝えたと述べた。(11月23日付けAA)



(写真は、11月23日付けAAから)

●エルドアン大統領、NATO首脳会議でロンドン訪問予定

エルドアン大統領は、12月3～5日の日程でロンドンを訪れ、NATO首脳会議へ出席予定。なお、ヨーロッパで初めて「環境に優しい」モスクとなるケンブリッジ・ジャーミーのオープニングに参加する予定。(11月25日付けC紙13面)

●イマムオール市長に中国・上海市からの訪問団が表敬

11月25日、中国・上海市首席市長補佐をトップとする訪問団がイマムオール市長を表敬訪問した。イマムオール市長は、2020年第1四半期に中国を訪れたいと述べた。上海市とイスタンブール市は姉妹都市協定を締結している。(11月26日付けC紙4面)

●チャヴシュオール外相のシリアについての発言がロシアで波紋

11月18日、チャヴシュオール外務大臣が「米国及びロシアは合意した内容を実行できておらず、トルコは新たに動き得る」旨の発言をしたことに対し、ロシア防衛省コナシェンコフ報道官は19日に「ロシアが約束を守っていない、シリア北部で新たな軍事作戦を開始するといったトルコの脅しを驚きをもって迎えた。軍事行動開始を呼びかける声明はシリア北部情勢を緊張させるだけである。」と発言した。(11月20日付けC紙7面)

経済

【マクロ経済】

●国際格付機関、トルコの経済成長率予想を引上げ

11月14日、ムーディーズは、以前の予想よりも景気回復が進んでいるとし、トルコの2019年、2020年、2021年のGDP成長率予測をそれぞれ0.2%、3%、3%に引き上げた。またフィッチも第2四半期のトルコの堅調な結果を受け、2019年GDP成長率予想を-0.5%から0.3%に引き上げ、2020年は3.1%、2021年は3.6%とした。(11月15日付けHDN紙9面)

●OECD、トルコの2019年GDP成長率予想を0.3%へ上方修正

11月21日、経済協力開発機構(OECD)は、「経済見通し(Economic Outlook)」において、トルコのGDP成長率予想を2019年は-0.3%から0.3%へ、2020年は1.6%から3%へ、2021年は2.3%から3.2%へ引き上げた。「過去数ヶ月成長は回復し続けており、政府の景気対策は内需を予想よりも引き上げており、通貨の下落が輸出を後押ししている」と評価した上で、2020年及び2021年は、対外貿易需要の低さ、地政学的な不確実性、民間のバランスシートの悪化により、GDP成長率は潜在的なトルコの経済成長率を大きく下回る3%前後に留まると予測した。(11月21日付けHDN紙インターネット版)



(11月21日付けHDN紙インターネット版から)

●9月のトルコの対外資産負債残高、3,516億米ドル

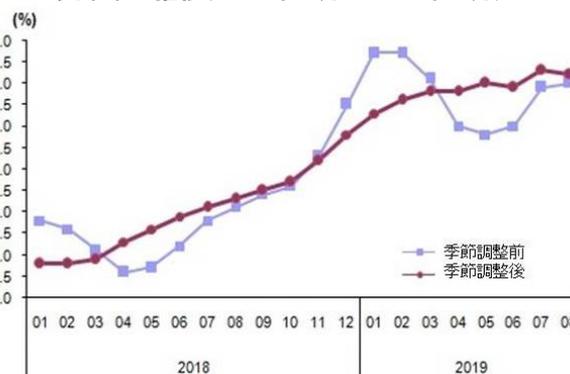
11月19日付けのトルコ中央銀行の国際投資ポジション(IIP)のデータによると、9月のトルコの対外資産は、2018年末から8%増加し2,475億米ドル、対外負債は、同期間に0.2%減少し5,990億米ドルで、トルコの対外負債残高は3,710億米ドルから減少の3,516億米ドルとなった。(11月20日付けHDN紙9面)

【経済指標】

●8月の失業率、14%

11月15日、トルコ統計庁(TUIK)は、8月の失業率は対前年同月比2.9%ポイント上昇の14%であったと発表。非農業部門の失業率は同3.5%ポイント上昇の16.7%、15歳から24歳の若年層失業率は同6.6%ポイント上昇の27.4%だった。また、同月の社会保障対象外の就労率は同2.1%ポイント上昇の36.1%だった。(11月15日付けTUIK)

失業率の推移(2018年1月～2019年8月)

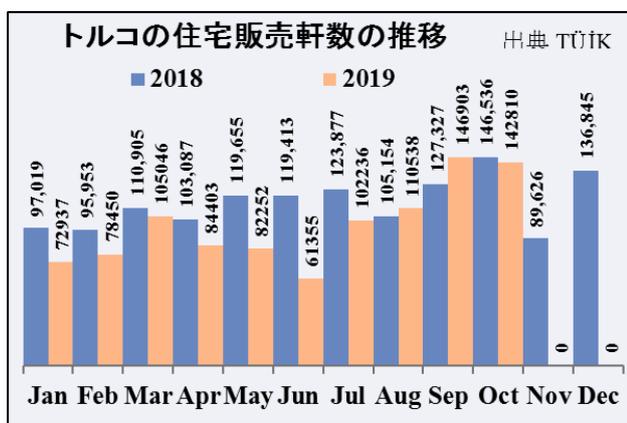


(グラフは、11月15日付けTUIKから)

●10月の住宅販売、対前年比2.5%減の14.2万軒

11月18日、トルコ統計庁(TUIK)は、10月の住宅販売数が対前年同月比2.5%減の14万2810軒(50,181軒が新築、92,629軒が中古物件)と発表した。一方、住宅ローンの利用による販売件数は同525.1%増の5万軒、外国人に対する販売軒数は

同 31.9%減の 4,272 軒だった(国籍別内訳は、イラク 597 軒、イラン 536 軒、ロシア 292 軒、アフガニスタン 185 軒)。(11 月 19 日付け D 紙 14 面)



(グラフは当館作成)

●停滞する建築現場:建築許可件数、前年比 57.1%減

11 月 19 日、トルコ統計庁(TUIK)は、1 月から 9 月の間に、地方自治体から公布された建物の建築許可件数が 33,684 件と対前年同期比 57.1%減となったと発表。2017 年の同期間は 13.2 万件だった。また建築総面積は同 58%減、不動産評価額は同 48.9%減、住居数は同 63.8%減だった。(11 月 20 日付け C 紙 12 面)

●11 月の消費者信頼感指数、59.9 に上昇

11 月 21 日、トルコ統計庁(TUIK)は、11 月の消費者信頼感指数が 10 月から 5.2%上昇し 59.9 となったと発表。一般経済見通しは同 6.9%改善の 78.5、家計状況期待指数は同 6.1%改善の 79.3、失業者数予測指数は同 3.6%改善の 58.8、貯蓄可能性指数は同 0.5%改善の 23 だった。同指数は 100 以上で楽観的見通しを示す。(11 月 22 日付け HDN 紙 9 面)

●11 月の製造業設備稼働率、77.2%に上昇

11 月 25 日、トルコ中央銀行は、11 月の製造業の設備稼働率(CUR)が前月から 1%上昇し 77.2%だったと発表。前年同月は 73.5%だった。食品・飲料品分野では前月と同じ 73.5%、耐久消費財分野では対前月比微減の 73.4%、消費財分野は同微増の 75.3%、中間財分野は同 1%増の 76.6%、投資財分野は同 1.1%増の 76.6%だった。(11 月 26 日付け HDN 紙 9 面)

●11 月の実体経済信頼感指数、102 に上昇

11 月 25 日、トルコ中央銀行は、11 月の実体経済信頼感指数が 10 月から 2.1%上昇し 102 であったと発表。また同日、トルコ統計庁(TUIK)は、11 月の産業別信頼感指数を発表。季節調整後のサービス業信頼感指数は前月の 101.7 から 106.3 に上昇した一方、小売貿易業は対前月比 1.1%低下の 101.2、建設業は前月の 65.1 から 63.9 に低下した。(11 月 26 日付け HDN 紙 9 面)

産業別信頼感指数の推移(2018 年 1 月～2019 年 11 月)



(グラフは、11 月 25 日付け TUIK から)

●カタールとの通貨スワップ協定、上限額を 50 億 TL 相当に引上げ

11 月 25 日、カタールを訪問中のエルドアン大統領は、同国と通貨スワップ、都市計画、貿易、標準規格化、産業技術協力、投資等の分野で 7 協定を締結。2018 年 8 月にトルコ中央銀行とカタール中央銀行との間で締結した通貨スワップ協定は同日付で改定され、スワップの上限は 30 億トルコリラから 50 億トルコリラ相当に引き上げられたことが発表された。(11 月 27 日付け HDN 紙 9 面ほか)

【銀行】

●国営銀行、イスタンブール市に門戸を閉ざす

11 月 24 日、イマムオール市長は、地方首長再選挙後、国営銀行がイスタンブール市に対する融資のほか、同市口座及び同市職員の給与振り込み口座における支払い処理すらも行わなくなったことを明らかにした。同市は、民間銀行及び外資系銀行から融資を得ているという。(11 月 25 日付け SOZCU 紙 9 面)

【交通】

●全日空、来年の羽田ーイスタンブール直行便の就航を発表

11 月 19 日、全日本空輸(ANA)は、2020 年 3 月からのサマーダイヤ(当館注:3 月 29 日から 10 月 24 日)期間中に、トルコ、中国、インド、イタリア、米国、ロシア、スイスへの 12 新路線を就航させることを発表。東京・イスタンブール便は、羽田国際空港から発着予定。日本の航空会社として、同区間の直行便の就航は初となる。(11 月 19 日付け HT 紙インターネット版)



(11 月 19 日付け HT 紙インターネット版)

●トルコ国鉄(TCDD)、2018 年は 25.6 億トルコリラの記録的赤字を計上

2018 年の財務省による国営企業報告書によると、トルコ国鉄(TCDD)は、2018 年に 25 億 5,800 万トルコリラの赤字を計上し、前年の 20 億トルコリラから 27%拡大した。なお、2018 年に行った TCDD の投資支出 74 億トルコリラのうち、39 億トルコリラは

財務省からの資本移転を通じて充当された。(11月18日付け SOZCU 紙インターネット版)

●独・仏銀行、イスタンブール地下鉄工事に融資

11月21日、イマムオール・イスタンブール市長は、過去2年間工事が中断していた同市アジア側の地下鉄のチェクメキョーサンジャクテペースルタンベイリ間(ウスキュダルーウムラニエーチェクメキョー間地下鉄の延伸路線)に係る建設工事を、ドイツ銀行から1.1億ユーロの融資を得て再開することを明らかにした。同路線は2017年12月29日に同市の要請により工事が停止。2018年3月に再開されたが同年10月に同市から業者への支払いがなされなかったため再び停止していた。現在の進捗状況は約6%で、2022年第4四半期に運営開始予定とされる。なお、トゥズラーペンディック間の地下鉄に関しては、フランス開発庁(AFD)が8,600万ユーロの融資を決定している。(11月21日付け SOZCU 紙インターネット版及び11月24日付け Reuters)



(SOZCU 紙を元に当館編集)

●アトラスグローバル、一時的に運行休止

11月26日、アトラスグローバル航空(旧名:アトラスジェット)は、11月26日から12月21日まで一時的に運行を休止することを発表。運行休止の背景として、2015年以降、テロ攻撃、経済の不安定化及び観光客の減少等により落ち込んだ業績は2018年下半期に一定程度回復したものの、2019年4月以降のイスタンブール空港への移転によるロジスティクス上の運営コストの上昇が業績回復に悪影響を及ぼしたことに言及した。(11月27日付け SOZCU 紙8面)

【企業等の動き】

●フォルクス・ワーゲン CEO:「戦場に工場の礎石は据えない」

11月20日、フォルクス・ワーゲンのヘルベルト・ディース CEOは、自身の LinkedIn サイトにおいて、トルコへの新工場建設決定を本年末まで持ち越すことを明らかにした。同 CEO は、トルコは大きな市場と良好な産業的基盤があるため新工場建設に非常に適したロケーションだとしても、同社は、独政府及び EU と北シリアにおける軍事衝突に対する意見を同じくしており、「人々が殺され続けている限り、戦場に(新工場の)礎石を据えることはできない」と述べた。(11月21日付け SOZCU 紙インターネット版ほか)



(写真は、11月21日付け SOZCU 紙インターネット版から)

治安

●ディヤルバクル県で違法薬物を5トン以上押収

11月15日、トルコ警察は、南東部ディヤルバクル県においてテロ対策捜査の過程で5トン以上のマリファナ等の違法薬物を押収したと発表した。この捜査では、他にも銃器類も押収されている。



(写真は11月15日付け S 紙インターネット版から)

●トルコに拘束された ISIL 関係者が欧州各国へ送還

11月20日、ソイル内務大臣は、ISIL 関係者として拘束されていた人物達の各国籍の欧州本国への送還を開始したことを発表した。発表では、11月19日までにドイツ人10名、デンマーク人1名、イギリス人1名、アメリカ人1名、オランダ人2名が国外へ送還され、他に944名が送還待機の状態であるとしている。(11月20日付け HDN 紙インターネット版)

●ISIL の国籍別名簿を押収

11月22日、トルコ警察は、メルスィン県における捜査において押収されたデジタル文書を解析した結果、ISIL に参加した人物の国籍別名簿であったと発表した。この資料では81ヶ国の計3846名の氏名が記載されており、ヨーロッパ諸国の国籍者は、約300名であった。(11月22日付け S 紙インターネット版)



(写真は11月22日付け S 紙インターネット版から)

●バトマン県でテロ計画の容疑者逮捕

11月23日、トルコ警察は、南東部のバトマン県においてテロ計画を実行しようとしていた PKK 関連容疑者7名を逮捕したと発表した。容疑者の内1名は、テロの実行のためにイラクから渡航しており、警察は捜査を続けていた。(11月23日付け S 紙インターネット版)

●過去3年間の国内でのテロ対策について内務省が報告

11月24日、トルコ内務省は、最新のテロ対策報告を発表した。その内容によれば、過去3年間で618件の国内テロ計画が未然に防止され、500個以上の爆発物が押収されたとしている。また、それらのテロ計画を実行しようとしていた112名を逮捕している。(11月24日付け S 紙インターネット版)

●トルコ南東部で PKK の爆薬等を押収

11月25日、トルコ内務省は、南東部シュルナク県で3名の PKK 関連容疑者を逮捕し、多数の爆発物等を押収したと発表した。押収品には約2トンの爆薬や自爆ベスト、銃器などが含まれており、国内でのテロを計画していたとみて捜査を続けている。(11月25日付け S 紙インターネット版)



(写真は 11 月 25 日付け S 紙インターネット版から)

社会

●サッカートルコ代表が EURO2020 予選通過

11 月 14 日、サッカーユーロ 2020 予選グループの試合でトルコは、アイスランドとの試合で引き分け、本選出場を決めた。ユーロ 2020 は、2020 年 6 月から合計 12 の都市で開催され、大会史上初めてヨーロッパ全土で開催される。

(11 月 15 日付け HDN 紙インターネット版他)



(写真は、11 月 15 日付け HDN 紙インターネット版から)

●合計 34 のトルコの大学が世界大学ランキングにランクイン

タイムズ世界大学ランキング 2020 が発表され、合計 34 のトルコの大学がランクインした。この世界大学ランキングには合計 92 か国から 1,400 の大学がリストアップされており、オックスフォード大学が 4 年連続でトップとなった。他に米国の 60 の大学、英国の 28 の大学、ドイツの 23 の大学がリストの上位 200 の大学に名を連ねており、トルコの大学では 401~500 位にチャンカヤ大学、サバンジュ大学、501 から 600 位にビルケント大学、ハジェッテペ大学及びコチ大学がランクインした。(11 月 23 日付け HDN 紙インターネット版)

●トルコが二点の骨董品を中国へ返却

11 月 25 日、トルコ文化観光省は、匿名の英国人によりトルコのムーラ県フェティエ博物館に寄贈された 2 点の骨董品を中国へ返却した。これに際し、アンカラのアナトリア文明博物館で式典が開かれ、メフメット・エルソイ文化観光大臣及びデング・リー中国大使が出席した。骨董品のうち一点は、唐王朝(紀元 618 年から 907 年)に属するもので、もう一点は、隋王朝(紀元 577 年から 618 年)に属するものだという。エルソイ同大臣は、「骨董品はその本土にあってこそ美しく価値のあるものだ。これが文化遺産に対する我々の敬意である」と述べた。

(11 月 25 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、11 月 25 日付け HDN 紙インターネット版から)

●トルコ俳優が、第 47 回国際エミー賞最優秀男優賞を受賞

11 月 25 日に行われた第 47 回国際エミー賞にて、トルコ俳優ハルク・ビルギネル氏が最優秀男優賞を受賞した。65 歳のビルギネル氏は受賞後のスピーチで「自分自身というよりも、トルコがこの賞を受賞したことが非常に嬉しい。自分が誇りを持ってやってきたことが国際的に認められ、賞を受賞できたということは非常に喜ばしいことだ」と述べた。同氏は、12 回シリーズのドラマ「シャフトシート」にて、アルツハイマー病の連続殺人鬼を演じた。(11 月 26 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、11 月 26 日付け HDN 紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応庁	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業者・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Haberturk
D	Dünya	IA	Ihlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞られる方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2019.1.1～2019.11.28 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2018年	0件	9件	0件	2件	0件	15件	0件	6件
2019年	2件	17件	0件	1件	0件	9件	0件	5件

★当館 HP 更新のお知らせ★

【領事】

- [トゥネル広場におけるデモ\(11月25日夜\)](#) (11/26)
- [イスタンブールにおけるスリ被害への注意喚起](#) (11/20)
- [イズミル領事出張サービス:実施案内\(12月14日\)](#) (11/20)
- [【イスタンブール補習授業校】2020年度講師募集のお知らせ](#) (11/20)

【広報文化】

- [西牧総領事とマニサ県知事との懇談](#) (11/21)